

# 滝川グループ 2012 年度環境報告書

滝川工業株式会社  
株式会社 滝川製作所  
滝川メンテナンス株式会社  
株式会社 神川鉄工所

滝川グループでは、1998年11月にISO14001「環境マネジメントシステム」の認証取得をして以来、下記に示します「社長の経営理念」に基づいて、全従業員とともに地球の環境保全に取り組んできました。

そして、1999年における環境保全活動の実績を第1回目の報告書としてまとめ、みなさま方に公開して参りました。

今回は14回目として、滝川グループの各事業所および各サイトにおける2012年度(1~12月)の活動の実績を基に作成いたしました。

ここには、各サイトの環境保全への基本姿勢と2012年度における成果、そして、特に重点的に取り組んできたテーマを選び報告書としてまとめております。

## 経営理念

当社は、当社が製造する一般産業機械、製造装置および関連設備、食品加工設備および機械部品の加工・組立、ならびにお客様の施設の保守・点検作業などに対し、次のことを確実にするためにISO14001に基づく「環境マネジメントシステム(EMS)」を確立し、維持する。

子孫に美しい地球を残すために、エネルギー・資源消費の削減とリサイクル、廃棄物の減量化ならびに環境汚染の防止、製品の品質改善の実行を通して、地域・地球環境の保全を目指す。

滝川グループ代表 滝川勝吾

## 1. 環境基本方針

滝川グループでは、創業以来培ってきた企業活動と環境との係わり合いを明確にするために、2002年7月に次の統合基本方針を制定しました。環境関連のみ抜粋したものです。

### 基本目標

滝川グループは、各システムに対応する基本目標として下記を定め、全従業員に知らしめると共に、従業員全員により実行し、維持する。

地球環境保全が人類共通の重要課題であることを認識すると共に、企業活動のあらゆる面でEMSの有効性の継続的改善、ならびに各事業所において周辺地域との協調・共生を図るために次の行動を起こす。

- 1) 基本方針ならびに年度目標に基づき、技術的、経済的に可能な範囲で各部門において年度目標を設定し、その進捗度および達成度について定期的（年央および年度末）にレビューする
- 2) 全従業員に下記項目の実施義務の自覚を促すことを確実にするために、従業員の教育・訓練をはじめとする啓発活動を行い、周知徹底を図る  
EMSの理解、環境に対する意識及び資質の向上、ならびに汚染の予防
- 3) 全従業員は、本マニュアルに定める品質、環境、ならびに労働安全衛生に関するマネジメントシステムを理解し、この規定事項に例外なく従う
- 4) 環境に関する法令・規制要求事項、ならびに当社が同意する要求事項を遵守するとともに、本マニュアルならびに各規定に基づきマネジメントの強化・向上に努める
- 5) 私は、業務部長を環境管理責任者として任命し、システム遂行に関する責任と権限を委譲する（権限の詳細は本マニュアル中に規定する）
- 6) マネジメントシステムの適切性を持続するために基本方針をレビューし、毎年1回見直すと共に、外部からの要請があればこれを開示する

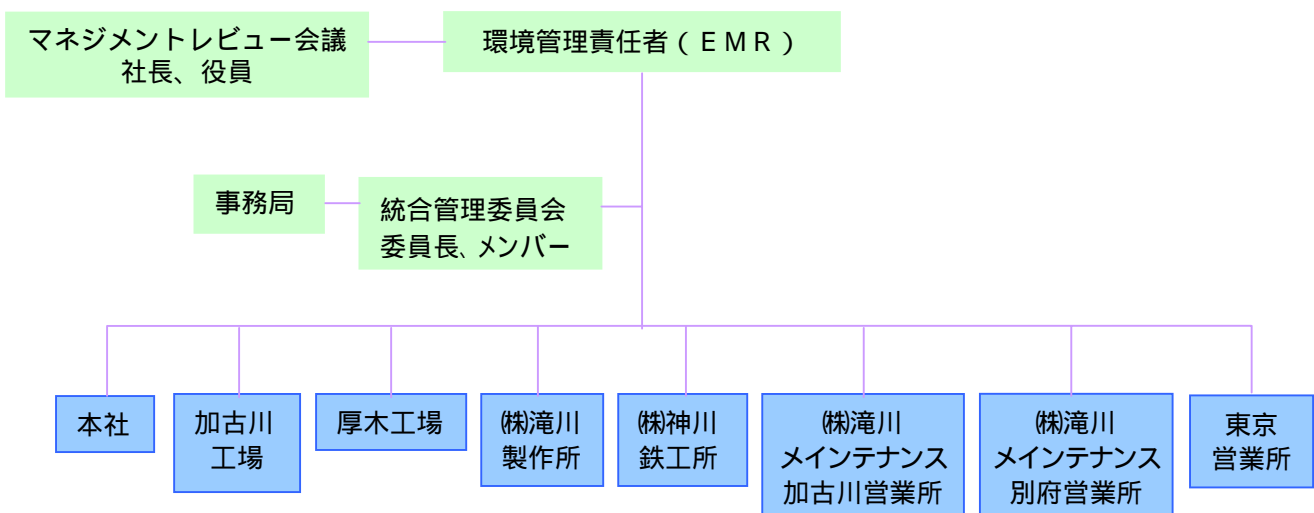
2006年1月31日

滝川グループ代表 滝川工業株式会社 取締役社長  
滝川 勝吾

## 2. 環境マネジメントシステム

### 環境管理組織

当社グループでは、環境対策を企業経営の最重要課題の一つとして位置付け、全社活動として実効の上がるものとするため、環境管理推進組織を構成し環境活動を推進しています。



## ISO14001規格への適応

滝川グループでは環境汚染の予防処置および継続的な環境改善を推進するため、国際規格 ISO14001「環境マネジメントシステム」の構築・運用に取組み、1998年11月にその認証を取得、2001年9月には、認証機関デット・ノルスケ・ベリタス社の品質 (ISO9001)・環境統合認証、2005年9月には、OHSAS18001も含む3規格統合およびISO14001の2004年度版切替審査、また、2007年7月には、品質・環境・労働安全衛生の統合更新審査により、オランダの認定機関RvAの統合認証を取得しました。

### 認証証書記載内容より抜粋

- 1) 認証番号 ; 4101-1998-AE-K0B-RvA Rev.1
- 2) 認証事業所 ; 滝川工業(株)本社・東京営業所・加古川工場・厚木工場(株)・(株)滝川製作所  
滝川メンテナンス(株)加古川営業所 / 別府営業所・(株)神川鉄工所
- 3) 適合規格 ; ISO14001 : 2004 = JIS Q 14001 : 2004
- 4) 認証範囲 ; 結束機、鉄鋼精整設備、電子部品搬送装置及び連続食品調理装置 (蒸し機・オープン) ならびに産業機械の設計、開発、製造、据付及びサービス。  
製缶作業、機械部品の機械加工および組立、製造装置のサイト内における保守・点検および修理工事
- 5) 有効期間 ; 2013年09月18日

## 3. 環境に対する取組み

### 統合スローガンおよび目標

統合スローガン・目標をより具体的にするため、各部門においては、これに合わせて実施する具体的な目標内容を設定し、その達成に向けて様々な活動に取り組んでいます。

### 2013年度 統合スローガン

#### 「受注前準備の徹底」

全社的傾向として、多くの不適合が受注前に行っておくべき事を当該部門が怠った為に発生していることが浮き彫りとなった。

性能・強度・製作・購入・検査 等々細部にわたる検討や確認が不足したまま受注に至り、設計・製作・購入段階にて、品質・コスト・工程 (納期) 面での不適合を発生させる原因となっている。

また、契約条件や、打合せの内容、更に文書化の不備により、最終価格交渉でトラブルを起こし、回収出来ない費用の発生や客先に対する信用失墜の原因にもなっている。

本年度は、「不適合の撲滅」から一歩進んで、受注前に行うべき事を営業部門のみならず、設計・製作・購買・工事・品質管理・安全管理・環境管理といった、グループ内あらゆる部門が、それぞれの機能に応じ、又、グループ各社、各部門の連携面からも確実に実施することをスローガンとする。

### 2013年度 環境目標

1. 6S・3定を推進し、各サイト毎に、更なる美化を目指す。
2. 省エネ・省資源、並びに廃棄物の減量・減容を目指す。

## 2012年度各部門目標実績

部門名	設定項目	結果
総務部	エコ活動	目標達成
	美化活動	目標達成
営業部	美化パトロール実施と6S3定推進	目標達成
	5R・省エネ・省資源	目標達成

部門名	設定項目	結果
東京営業所	所内の美化パトロール実施	目標達成
	書類の減量化・減容化推進	目標達成
業務部	6S3定推進による美化向上	目標達成
技術部	環境関連資格者の養成	目標達成
	事務所内の美化	目標達成
	省エネ製品の改善	目標達成
品質管理部	塗料・シンナー管理の改善	目標達成(継続実施)
	製品含有化学物質管理の運用	目標達成
製造部第1工場	6S3定推進による工場内美化と課員のモラルアップ	目標達成
	工場内から発生する騒音影響の低減	目標達成
製造部機械工場	切削油の削減	廃含水油ゼロ達成
	工場内6S・3定の推進	目標達成
製造部組立工場	工場内6S3定の推進	目標達成
厚木工場	工場内6S3定の推進・塗料管理	目標達成
	無駄な電力使用の削減	目標達成
新島工場	工場内6S3定の推進	目標達成(改善提案件数は未達)
	焼却物の減量・減容	目標達成
滝川メンテナンス加古川	6S・3定の推進	目標達成
滝川メンテナンス別府	6S・3定の推進	目標達成
神川鉄工所	切削油の削減	目標達成
	工場周辺の美化運動	目標達成

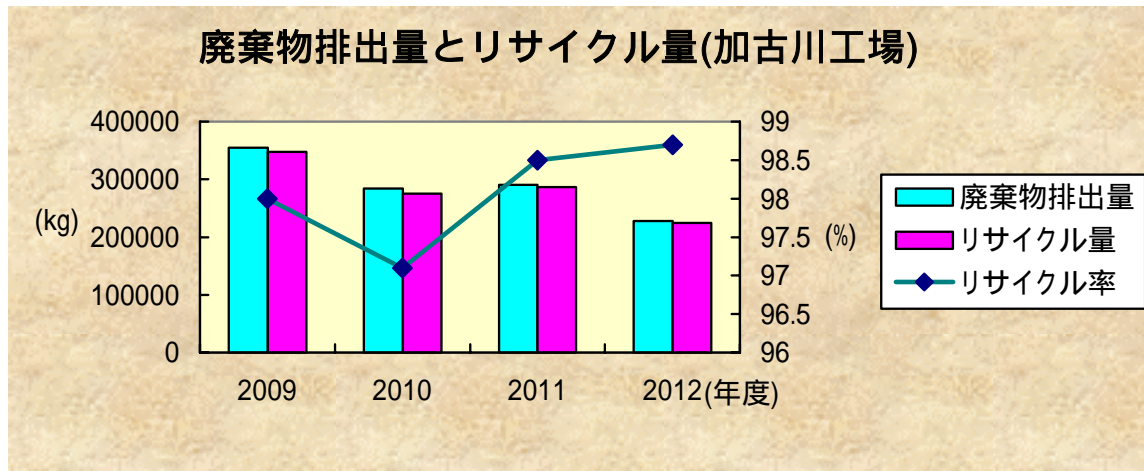
## 環境パフォーマンス実績

### 廃棄物排出実績およびリサイクル率

\*上段：2012年度 下段：2011年度

サイト (kg)	加古川 工場	本社	厚木 工場	滝川 製作所	神川 鉄工所	滝川メイン テナンス・加	滝川メイン テナンス・別	東京 営業所	滝川グループ 合計
年間排出量 (総重量 kg/年)	227,699	2,194	31,210	38,858	89,197	146,002	295	373	535,848
	290,709	1,802	14,616	31,467	86,960	133,539	342	313	559,748
無効廃棄量	2,898	0	0	200	461	200	0	0.1	3,759
	4,367	0	0	1,325	0	187	0	0.1	5,879
サーマル リサイクル	9,095	3	3,600	3,656	1,650	368	248	2	18,622
	12,142	10	2,675	6,339	1,860	408	290	2	23,726
マテリアル リサイクル	215,706	2,191	27,610	35,002	87,086	145,434	47	371	513,467
	274,200	1,792	11,941	23,803	85,100	132,944	52	311	530,143
リサイクル率 (%)	98.7	100	100	99.5	99.5	99.9	100	100	99.3
	98.5	100	100	95.8	100	99.9	100	100	98.9

## 廃棄物排出量とリサイクル量(加古川工場)



### 教育・訓練の推進

- a . 環境マネジメント教育； 役員対象、管理職対象、従業員対象
  - ・ 環境マネジメントシステム要求事項ならびに実施事項のポイント
  - ・ 現状およびなぜ環境保全活動が必要か
  - ・ 当社の環境マネジメントレベルの変化について
  - ・ 全社方針と目標、ならびに各部目標と個人目標
  
- b . 内部環境監査員研修； 1泊2日間(合宿形式 錦水倶楽部にて)
  - ・ 当社の環境保全活動実績に基づいた1泊2日の合宿形式の研修プログラムを構築し、当社の品質管理部による社内向けおよび社外向けの研修を実施しています。
  - ・ 現在、外部企業の方を含めて249名が終了され、そのうち当社グループ全体で、73名が認定されています。
  
- c . 環境マネジメントシステム研修講師
  - ・ 外部教育機関にて4泊5日のフォーマルコース研修を受けた要員が、4名おり適宜、環境マネジメントシステムの維持向上に、あるいは従業員の環境知識の向上に努力しています。
  
- d . 緊急事態への対応教育
  - ・ 各サイトおよび各部門にて必要な緊急事態を特定し、関係する従業員を対象にして定期的実施訓練をしています。
  - ・ また、全サイトの従業員を対象として火災時の避難訓練も定期的実施しています。

以上